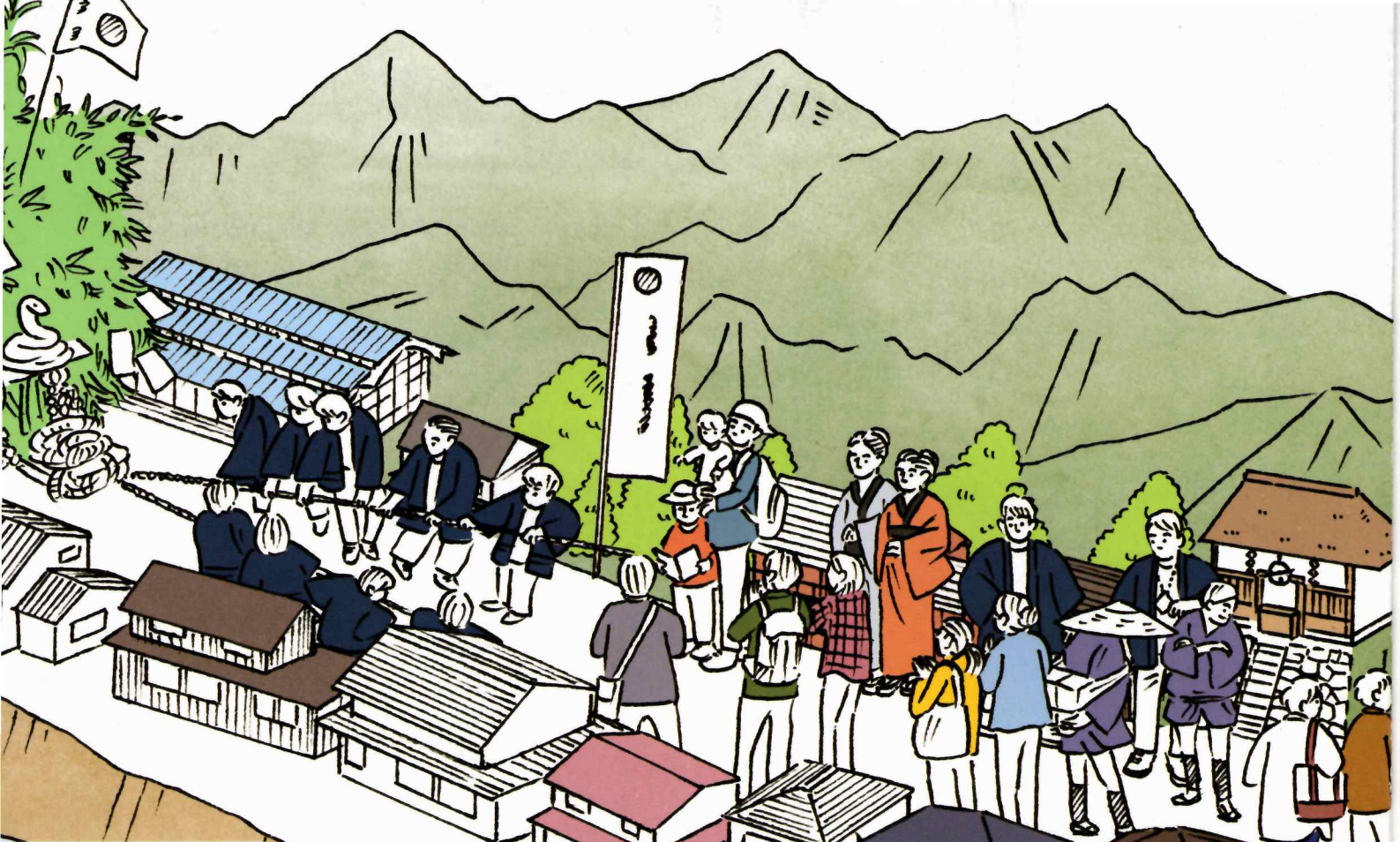


# Together!

Tabayama Village

山梨県 丹波山村 | [協業]と[ご寄附]のご案内





たばやまむら

## 丹波山村

山梨県の北東部、東は東京都奥多摩町、北は埼玉県秩父市に接する、面積101.3平方kmの小さな村。全体面積の97%は山林、そのうち約70%が東京都の水源涵養林。多摩川源流の豊かな緑と水に恵まれた地域です。圧倒的な大自然をフィールドに、トレッキングやキャンプ、釣りやサイクリングなどがさかんであることに加え、天然の温泉をはじめ、舞茸やジビエ、鮎などのグルメが訪れる人を魅了しています。

### お問い合わせ

#### 丹波山村地域創造課

TEL:0428-88-0211 FAX:0428-88-0207

E-mail : [sousei@vill.tabayama.yamanashi.jp](mailto:sousei@vill.tabayama.yamanashi.jp)

〒409-0300 山梨県北都留郡丹波山村 2450 番地

## 丹波山村と一緒に、 豊かな未来のトビラを開いてみませんか？

山梨県の北東部、東京都との境に位置する丹波山村は、人口500人弱（2024年3月現在）の小さな小さな村。雲取山や飛龍山、大菩薩嶺といった勇壮な山々からは、日々、野鳥たちの美しいさえずりが聞こえ、多摩川の源流・丹波川からは間断なく、潤いをもたらされています。

一方で、少子高齢化が進み、人口が減っていく中、豊かな自然と文化をいかに次世代へ継いでいくのかという課題に直面しています。

そこで私たちは村外の企業、教育機関、各種団体等のみなさまとともに丹波山村の価値を分かち合いながら、未来につながる村づくりを行うべく、一大企画を立ち上げました。

その名も、「Together Project」。

この村が有する資源をご活用いただきながら、丹波山村の未来とともに築き上げていくプロジェクトです。

異なる背景を持つ、人と知とモノが混じり合うことでプロジェクトの可能性は無限に広がります。

江戸時代の昔、この村は青梅街道の宿場町として、多くの人が行き交う賑わいの場でした。

村を貫く一本の街道には、古くから人や知や技術や芸が集まり、交流と繁栄の歴史を紡いできたのです。

こうしたオープンな風土は、現代にも受け継がれています。

みなさまとともに新たなプロジェクトを始められることを期待しています。



## 官民連携の実現に向けたステップ

### 1 お問合せ

企業様のご意向を担当職員がお伺いします。新規事業の立ち上げや、実証実験、ワーケーションの場としてのご活用のご要望など、まずはお気軽にお問い合わせください。丹波山村とみなさまがつながり、新しい価値・未来を創造できるよう、最大限の力を注ぎます。

### 2 協業・寄附の内容を決定

丹波山村が持つ資源（環境、産業、施設、人材等）についてご説明した上で、連携によって生まれる企業様にとってのメリット、丹波山村にとってのメリットを「見える化」し、具体的な協業の手法、ご寄附の内容などを決めていきます。プロジェクトのベースとなるご予算、実施のタイミング、場所や人材の確保などを可視化し、組み立てていきます。

### 3 取り組みの実施

いよいよ取組のスタートです。プロジェクトの実行中や終了後にも状況を適宜ご報告させていただきます。ぜひ、進化していく丹波山村の姿を確認しに、村へ足をお運びください。間断のないコミュニケーションにより関係が深まり、双方にとって持続的にメリットが生まれるよう、尽力します。

## 企業版ふるさと納税とは

丹波山村の地方創生の取組に対してご寄附をいただいた場合に、企業のみなさまが納められる法人関係税から税額の控除を受けることができる制度です。最大でご寄附額の約9割が税額から軽減され、実質負担は約1割になります。SDGsやESGへの寄与等、社会貢献活動のPRとしてご活用ください。ご寄附をいただいた企業のみなさまは、村のウェブサイトや広報誌等でご紹介させていただくほか、さまざまなバネフィットをご用意しています。

# 無限の可能性を秘める 丹波山村との連携プロジェクト

新たなプロジェクト立案のご参考に、村の取組の一部をご紹介します。

## 1 たとえば・・・ 「山村留学」をはじめとした、子育て・教育の充実に向けた事業

丹波山村にとって宝である子どもたち。30年以上続く「山村留学制度」を利用して、都市部から村に移り住む子どもも多くいます。個々に合わせた丁寧な学習指導や自然環境を活用した野外体験学習など、小規模校ならではの教育を実践しています。大都市では実現できない豊かな教育環境の継続や、未来ある子どもたちへの投資として、ご支援ください。



## 2 たとえば・・・ 公共交通空白地の村の「移動手段」を軸とした支援事業

土地の面積の97%を山林が占める丹波山村。公共交通の選択肢が乏しく、傾斜地が多いため、高齢者を中心に移動に不便を感じている方も多くいます。村では、環境に配慮した低速車両の導入など、村内の新たな交通手段の開拓を進めています。「移動手段」を軸とした、村のQOL(生活の質)の向上に向けた取組にご協力ください。



### 日本コカ・コーラ株式会社 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

ビジネスを行う上でかけがえのない資源である水を守る活動の一環として、コカ・コーラ多摩工場周辺流域における持続可能な水資源の保全の推進を目的とした協定を丹波山村と締結。村有林の約80ヘクタールに対して、間伐や、作業道の整備等に係る森林の管理作業をサポートするほか、森林保全の普及活動にも協力して取り組んでいます。



### サミット株式会社

SDGsを踏まえた取組の重点テーマをまとめた「GO GREEN」チャレンジ宣言を制定。GO GREENを体現する場として、丹波山村を選んでいただいています。2006年から村有林の一部を「サミットの森」とし、間伐や植樹を実施。2015年からは村内の耕作放棄地を使った「サミットファーム」の活動も加わり、村と協力しながら、開墾から植え付け、収穫までを行っています。社員研修や、スーパーを利用するお客様のツアーをきっかけに、多くの方が村に足を運んでいただいています。



これまでの協業事例をご紹介します  
PROJECTS



### 株式会社ソフィアコミュニケーションズ

地方応援税制(企業版ふるさと納税)を通じ、丹波山村の地域再生計画の基本目標の一つである「村の資源を活かした新たな雇用の創出」を応援。場所にとらわれず、村内にいながら多様な働き方ができるよう、オンラインでの仕事の紹介や、デジタル技術の習得を支援していただいています。また、東京都の認定インキュベーション施設を運営するノウハウを生かし、地域おこし協力隊をはじめ、村内での起業を目指す人の創業支援も行っています。



### 株式会社カルネヴァーレ

焼肉KINTANをはじめとした飲食店を1都2県で22店舗展開し、丹波山村を代表する特産品であり、収穫期間が1年でわずか3週間しかない希少な「原木舞茸」を使ったメニューを開発・提供していただいているほか、毎年秋に開催される「舞茸祭」にも出店していただいています。丹波山村は、代表取締役の鳴坂竜一氏の第二の故郷であることから、2023年には「丹波山村ふるさと大使」に就任し、食を通じた丹波山村のPRに注力していただいています。



JOIN US!

丹波山村との協業・寄附に関するご相談、いつでもお待ちしております。